

第3回協議会の論点整理

意	見
◆適正規模について	
・ 学校規模を大きくすることが、必ずしも良いとは思わない。	
・ 中学校について、少人数の中で難しい時期にきめ細かく対応してほしい。	
・ 小規模も捨てたものではない。統合すると大規模になってしまう。	
・ 統合する場合、18 学級より少なくても良いのか。	
・ 小規模校の教員や子どもにアンケートを取る等、声を聞いてみたい。	
・ 適正規模であることは望ましい。 * 運動会の事例 * 適正な規模の中での豊かな人間性	
・ 国では 35 人学級も提案されている一方、小規模校はクラス替えができない。 「学級人数は抑え、学級は複数に」という適正規模が良い。	
◆学校の配置	
・ 千城台地区は 4 km、6 kmの中に入るか。 ・ 駅から 1 kmの開発許可	
◆統合に関して	
・ 中学校は 2 校のままで良いという意見が大半である。	
・ 現状でよいのであれば、そのままで良い。なぜ、千城台地区に統合の話がでたのか。	
・ 更科や坂月の統合をなぜ進めないのか。	
・ 統合のメリット、デメリットをよく検討し、考えていくことが大切。	
・ 統合をやらないという結論が出たら、やらないのか。	
・ 南小は人数の少ない良さがあげられている一方、クラス替えの意見もある。	
・ 旭小は現状のまま残してほしいという意見である。少人数、通学距離が理由である。	
・ 統合しないという結論もあって良い。	
・ 財政事情により負担軽減されるのであれば、統合しても良い。	
・ 国の財政方針が背景である。人員の削減による経費節減が大きい。	
・ 小中一貫教育校も考えられる。	
・ 小学校と小学校の間に、統合校を新設した例もある。	
・ 統合校として、「新設」の学校はできるのか。	
・ 小学校を 1 校に統合し、スクールバスを配するのはどうか。	
◆話し合いの進め方	
・ 適正配置を行うのか、行わないのかをはっきり決めていきたい。	
・ 多数決で決定するのか、全員の合意で決定するのか。	
・ 生の声を聞きたいというのであれば、低学年や未就学の保護者が委員であるべきだ。	
・ 統合したいかどうか、保護者に聞いてみたい。	
・ これから統合にかかわる保護者の意見を聞くべきだ。	
・ アンケートは、現時点では難しい。質問内容をよく吟味すべきだ。	

◆その他

・県営・市営の入居基準が変われば、児童数は増えるのか。

・地域活性化も含め、子どもが増えていく方向性を探りたい。

・跡地は、コミュニティー等をつくっても子どもは増えない。売却し、住宅開発を行うべきだ。